

2022 年度 麗澤大学

# 総合型/学校推薦型 選抜要項

第 1 版 2021/06/30

第 2 版 2021/11/15

- 
- 本選抜要項には、出願から入学手続完了までのすべての事項が記載してあります。よく読んで、思い違い、書き違いのないよう十分注意してください。
  - 新型コロナウイルス感染症対策による変更について  
今後の新型コロナウイルス感染拡大状況や政府の方針によっては、要項記載の内容に変更が生じる場合があります。変更が生じた場合は、本学ウェブサイト (<https://www.reitaku-u.ac.jp/>) にて速やかにお知らせしますので、出願にあたっては、必ず本学ウェブサイトに掲載された最新情報をご確認ください。
-

# 出願から入学手続きまでの流れ

STEP  
1

本選抜要項にて、選抜日程・受験科目・各選抜方式・必要書類を確認する

STEP  
2

出 願

WEB 出願

①出願内容を登録

(氏名、志望学部・学科・専攻、試験日、選抜方法、受験料の支払い方法など)



②受験料の支払い



③指定の書類を印刷

(画面や確認メールの指示に従い、確認票や支払い票など指定の書類を印刷する)



④出願書類の郵送

(必ず簡易書留の速達で郵送)

出願完了

STEP  
3

「麗澤大学 WEB 出願 出願受付通知」という  
件名のメールが届いたら、受験票を印刷する

STEP  
4

指定の試験場で受験する

STEP  
5

合格発表を確認する (WEB による合否照会 合格発表日 午前 10 時～)

STEP  
6

入学手続きを行う

# 目 次

## 1 アドミッション・ポリシー

国際学部	1
外国語学部	1
経済学部	1

## 2 各学部の学修の特長、目的

国際学部	2
外国語学部	2
経済学部	3

## 3 募集学部・学科・専攻および募集人員

国際学部	4
外国語学部	4
経済学部	5

## 4 総合型選抜 選抜要項

### 総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】（専願型／併願型）

試験日程	6
選考方法	6
プレゼンテーションの実施方法について	6
時間割	7
出願条件	7
課題テーマ	
国際学部	9
外国語学部	11
経済学部	12

### 総合型選抜【課題プレゼン型Ⅱ期】※国際学部のみ

試験日程	14
選考方法	14
プレゼンテーションの実施方法について	14
時間割	15
出願条件	15
課題テーマ	16

### 総合型選抜【基礎学力型】（専願型／併願型）

試験日程	17
選考方法	17
時間割	17
出願条件	17

## 5 学校推薦型選抜 選抜要項

### 学校推薦型選抜【公募推薦】

試験日程	18
選考方法	18
時間割	18

出願条件	18
<b>6 共通事項</b>	
<b>出願書類一覧</b>	
出願書類	21
<b>課題レポート作成要領（総合型選抜【課題プレゼン型】）</b>	
作成要領	23
<b>付属資料記入要領</b>	
付属資料の記入上の注意	25
付属資料の各項目について	25
評価の視点	25
資格コード表（別表）	26
諸活動の例示	26
<b>レポート作成要領（学校推薦型選抜【公募推薦】）</b>	
作成要領	28
<b>出願手続</b>	
出願方法	29
入学検定料の納入	29
出願手続上の注意事項	29
個人情報の取り扱いについて	29
障がい等の理由で受験上の配慮を希望する方へ	29
<b>受験</b>	
受験方法	31
受験票	31
試験会場	31
受験上の注意（本学で受験する場合）	31
受験上の注意（自宅や高校などからオンライン受験する場合）	31
<b>合格発表</b>	33
<b>入学手続</b>	
入学手続書類	33
入学手続期限	33
入学手続方法	33
入学辞退と納入金の返還	33
<b>2022年度学校納付金（予定）— 年額 —</b>	34
<b>試験会場案内</b>	35

# 1 アドミッション・ポリシー

## 国際学部

グローバル社会で生き抜くコミュニケーション能力と人間力を身につけ、地球規模で生ずる様々な問題を把握し、それに対処していける人材、すなわち高い志と倫理観を備えたグローバルリーダーを育成するという本学部の教育理念を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身につけている者を求め、受け入れます。

- (1) 「知徳一体」の教育理念を理解し、関心を持つ者
- (2) 国際学部の学習内容を理解し、関心を持つ者
- (3) 国際学部での学習に必要な基礎的知識を持つ者
- (4) 英語の基礎的な運用技能を持つ者
- (5) 国際学部で学ぶ目的意識の強い者
- (6) 目標に向けて継続的な努力を続けられる者

## 外国語学部

語学力・コミュニケーション能力・多文化理解能力を備えた、国際的教養人を育成するという本学部の教育目標を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身につけている者を求め、受け入れます。

- (1) 外国語学部の学習内容を理解し、関心を持つ者
- (2) 外国語学部での学習に必要な基礎的知識を持つ者
- (3) 外国語の基礎的な運用技能を持つ者
- (4) 外国語学部で学ぶ強い目的意識を持つ者
- (5) 高等学校時代の学習及び諸活動において顕著な成果を挙げた者

## 経済学部

国際性と倫理性を備え国際社会に貢献し得る人材を育成するという理念のもとに、経済学・経営学に関する基礎的専門力を備えた人材、すなわち国際公共人を育成するという本学部の教育目標を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身につけている者を求め、受け入れます。

- (1) 「知徳一体」の教育理念を理解し、関心を持つ者
- (2) 経済学部の学習内容を理解し、関心を持つ者
- (3) 経済学部での学習に必要な基礎的知識を持つ者
- (4) 情報・簿記等の基礎的な運用技能を持つ者
- (5) 経済学部で学ぶ目的意識の強い者
- (6) 高等学校時代の学習及び諸活動において成果を挙げた者

経済学部の具体的な学習内容とは、5つの専攻での学びやデータサイエンスプログラムでの学びなどのことです。

経済学部で学ぶ目的意識が強いとは、以下に示した内容を学ぼうとする意欲があることです。

1. 情報技術、数理的手法、コミュニケーション能力などを活用して、問題の解決に取り組む意欲
2. 探究心を持って情報収集し、自らの考えを論理的に構成し、適切な表現で発表したり論述したりする意欲
3. 他の人々と協調してグループワークやボランティア活動を行い、相互理解を図ろうとする意欲
4. スポーツを通じて、豊かな活力のある社会を形成する意欲
5. 独創性があり、新しいことに挑戦しようとする意欲

## 2 各学部の学修の特長、目的

### 国際学部

---

国際学部には2学科3専攻があります。

- ・「日本学・国際コミュニケーション専攻」では、外国人留学生と共に学ぶ「日常的多文化共生空間」の中で、自明視して振り返ることのない「自分たちのこと」への気づきを重視します。自己理解が他者理解と表裏一体のものであることを理解した上で、コトバの高度で効果的な運用技術を徹底的に学び、Japan Studies や多文化共生学を中心とした学問的専門性を身につけていきます。現実社会の多様性の中で、異なる価値を巧みにつなぐ柔軟な発想を持ち、国内外問わず活躍することのできる人材を育成します。
- ・「国際交流・国際協力専攻」では、学生の主体性を重視し、他者の文化や宗教、地域事情や歴史を理解することを基礎にして、世界における紛争、貧困、環境、災害、難民、人口問題などに向き合い、自分たちに何ができるのかを考え、プロジェクトを構想し、実行に移すことを通じて、社会的な課題を発見する力、課題を解決する力、提案をする力を身につけます。
- ・「グローバルビジネス専攻」では、グローバルとローカルの両方の視点からビジネス社会を捉えるため、経済、経営、国際地域研究、ファイナンス、AIなどを英語と日本語で学際的に学び、経済やビジネスを担う人材間の潤滑油となるコミュニケーションスキルを備えた、品格あるグローバル・ビジネスリーダーを育てます。

### 外国語学部

---

外国語学部には1学科4専攻があります。

- ・「英語コミュニケーション専攻」では、高度な英語運用能力を持ち、英語学・英語教育学・コミュニケーション学を3つの柱として学ぶことによって、知識を深め、社会の現状を分析し、他者と論理的に議論し、国際的に活躍できるコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目指します。
- ・「英語・リベラルアーツ専攻」では、高い英語力を通して国際的に広がる情報にアクセスし、文化・社会・歴史などの教養をグローバルな視点で理解し、発信することができるようにします。社会や文化に存在する様々な問題を発見し、分析し、議論する力を持ち、グローバルな世界で活躍する人材の育成を目指します。
- ・「ドイツ語・ヨーロッパ専攻」では、90%の派遣率を持つ留学プログラムを中心に、ドイツ語力、コミュニケーション力、人間力を高めるカリキュラムを実施しています。中でも特長的なのは、グループワークを中心とした特定の教科書を使用しない語学教育と、ドイツ留学期間中に実施するインターシップなどのプロジェクトです。ここでは、積極的に人と関わろうとする姿勢、失敗を恐れずチャレンジする行動力が重要となってきます。大きな夢や目標を持ち、ドイツ語やヨーロッパ圏の文化への関心が高く、好奇心を持って様々なメディアから情報を収集した上でそれを自分の言葉で語る人物を求めます。
- ・「中国語・グローバルコミュニケーション専攻」では、グローバル社会で生きていくためのコミュニケーションツールである英語、そして相手の文化的背景をふまえながら本気で語り合える、本場で通用する中国語の2言語を身につけます。大学4年間の根幹となる部分は、もちろん語学の習得です。それに加え、フィールドワークや留学などの現場で鍛えた力で、しなやかに動きまわり、新しいビジネスの世界を切り開くセンスを持った人材の育成を目指します。

経済学部には2学科5専攻があります。

- ・「経済専攻」では、現代経済の構造を学ぶことを通じて、社会における様々な問題を解決する能力を習得します。習得した経済学の知識を応用し、日々報道される経済ニュースを論理的に分析できるような人材として、どんな社会でも生き残るための「自分の頭で考える力」の養成を目指します。
- ・「観光・地域創生専攻」では、観光を旅行業やホテル業といった個々のビジネスではなく、ひとつの大きな産業・経済行為として捉え、「ある取り組みは、どれだけの経済効果を生むか」を論理的に考え、観光と地域創生を担う人材を育成します。限られた予算を最大限に活かす方法や、データの正しい読み取り方など、経済学の視点で観光を科学的に学びます。
- ・「経営専攻」では、現実の企業と連携し、実際の経営課題を解くことにチャレンジすることにより、「正しい判断力と即戦力を併せ持つ経営人」の養成を目指します。教員と学生が一体となって、「なぜこのお店には行列ができているのか」「売上を伸ばす SNS の活用方法とは」などの経営学の研究課題を設定し、様々な問題解決手法を身につけます。
- ・「AI・ビジネス専攻」では、今後必須となる「AI+ビジネス+会計ファイナンス」の知識を修得し、AI技術をビジネス・金融分野に応用できる人材を育成します。また、資格取得にも力を入れており、統計検定やITパスポートなどのAI・IT系の資格だけに留まらず、簿記やファイナンシャル・プランニング技能士など金融系の資格取得も目指します。
- ・「スポーツビジネス専攻」では、スポーツビジネスを一生の仕事にするために必要な理論・技術・ノウハウを実践的な学びによって身につけ、その分野で活躍できる人材を育成します。そのため、スポーツクラブやスポーツイベントを運営するための高いマネジメント力とコミュニケーション力を身につけるとともに、必要な資格取得につながる授業や実習を設けています。

### 3 募集学部・学科・専攻および募集人員

#### 国際学部

入試区分	学科・専攻	国際学科		グローバルビジネス学科
		日本学・国際 コミュニケーション専攻	国際交流・ 国際協力専攻	グローバルビジネス専攻
	総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】 (専願型)	約 10 名		約 10 名
	総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】 (併願型)	若干名		若干名
	総合型選抜【課題プレゼン型Ⅱ期】	約 5 名		約 5 名
	総合型選抜【基礎学力型】 (専願型)	約 5 名		約 5 名
	総合型選抜【基礎学力型】 (併願型)			
	学校推薦型選抜【公募推薦】	約 2 名		約 2 名

#### 外国語学部

入試区分	学科・専攻	外国語学科			
		英語 コミュニケーション 専攻	英語・ リベラルアーツ 専攻	ドイツ語・ ヨーロッパ専攻	中国語・グローバル コミュニケーション 専攻
	総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】 (専願型)	約 30 名			
	総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】 (併願型)	若干名			
	総合型選抜【基礎学力型】 (専願型)	約 20 名			
	総合型選抜【基礎学力型】 (併願型)				
	学校推薦型選抜【公募推薦】	約 15 名			



入試区分	学科・専攻		経営学科		
	経済専攻	観光・地域創生専攻	経営専攻	AI・ビジネス専攻	スポーツ・ビジネス専攻
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】 (専願型)	約 20 名		約 20 名		
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】 (併願型)	若干名		若干名		
総合型選抜【基礎学力型】 (専願型)	約 5 名		約 5 名		
総合型選抜【基礎学力型】 (併願型)					
学校推薦型選抜【公募推薦】	約 5 名		約 5 名		

## 4 総合型選抜 選抜要項

### 総合型選抜【課題プレゼン型 I 期】（専願型／併願型）

#### ■試験日程

出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
2021年9月6日（月） ～ 10月6日（水） （消印有効）	10月23日（土）	11月2日（火） 午前10時	【専願型】 11月16日（火）（消印有効）
			【併願型】 12月1日（水）（消印有効）

#### ■選考方法（国際学部・外国語学部）

選考方法		時間	配点	総合点
書類（出願時）	調査書・志望理由書・付属資料により総合的に審査を行う。	-	100点	200点
プレゼンテーション	テーマに基づいたプレゼンテーションを行う。	10分	50点	
面接	アドミッション・ポリシーについての理解とプレゼンテーションに関連した個人面接を行う。	20分	50点	

※外国語学部の面接は、英語コミュニケーション専攻、英語・リベラルアーツ専攻の2専攻は日本語と英語で、その他の2専攻は日本語で行います。

※「プレゼンテーションと面接」は来学、もしくはオンライン受験（Zoom）を選択できます。WEB出願時にお選びください。

#### ■選考方法（経済学部）

選考方法		時間	配点	総合点
書類（出願時）	指定したテーマに対するレポート（800～1,200字）・調査書・志望理由書・付属資料により総合的に審査を行う。	-	100点	200点
プレゼンテーション	提出したレポートについてのプレゼンテーションを行う。	10分	50点	
面接	アドミッション・ポリシーについての理解とプレゼンテーションに関連した個人面接を行う。	20分	50点	

※経済学部の「プレゼンテーション」は、出願書類の一つとして提出したテーマに対するレポートに基づく発表を行います。

※「プレゼンテーションと面接」は来学、もしくはオンライン受験（Zoom）を選択できます。WEB出願時にお選びください。


#### ■プレゼンテーションの実施方法について

プレゼンテーションで、以下のいずれかに当てはまる場合は、事前に申請が必要です。該当する者は、申請期間内に所定の方法にて申請してください。申請を許可された者以外が試験当日に以下の事項を実施することはできません。

- ・大学からパソコンなどの電子機器や物品を借用する
- ・受験者自身がパソコンなどの電子機器を持ち込み使用する
- ・プレゼンテーションで大きな音や声を出す
- ・発表の中で DVD など音の出る映像を使用する

※パソコンなどの電子機器を使用する場合は、動作不良などによって当日プレゼンテーションが実施できないということがないように、万一に備えて事前に印刷した資料も準備して持参するようにしてください。

※依頼された借用物を用意できない可能性もあります。

申請期間	9月6日（月）～10月18日（月）
申請方法	<p>申込みフォーム (<a href="https://tayori.com/f/application-admission">https://tayori.com/f/application-admission</a>) から申請してください。</p>  <p>フォーム内の指示に従い、以下の項目に回答してください。          ①氏名 ②出願専攻 ③電話番号          ④借用または持参の希望 ⑤借用または持参する機材</p>
本学で用意できるもの	<p>ノートパソコン（仕様：Windows10 Office 2016）          プロジェクター（接続ケーブルは、アナログRGBケーブル（VGAケーブル））          ホワイトボード（教室備え付けのもの）、マグネットなど</p>

## ■時間割

10：00～ ※	プレゼンテーション終了後
プレゼンテーション	面接

※各自の集合時間やプレゼンテーション・面接の時間については、出願期間終了後にメールで通知します。

## ■出願条件

次の4つの条件をすべて満たす者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者または2022年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2022年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(2) アドミッション・ポリシーを了承した者

(3) 合格後は入学を確約できる者（専願型のみ）

(4) 外国語学部は、次のいずれかの資格を取得している者

	資格・検定試験等	英語コミュニケーション専攻 英語・リベラルアーツ専攻 中国語・グローバルコミュニケーション専攻	ドイツ語・ヨーロッパ専攻
①	実用英語技能検定（CBT含む） （日本英語検定協会）	2級以上	準2級以上

②	TOEIC® (IP 含む) : Test of English for International Communication [(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会]	425 点以上 (L&R) 660 点以上 (L&R+S&W)	350 点以上 (L&R) 585 点以上 (L&R+S&W)
③	TOEFL® : Test of English as a Foreign Language [Educational Testing Service(ETS)]	iBT43 点以上 ITP443 点以上	iBT35 点以上 ITP417 点以上
④	GTEC (CBT 含む) : Global Test of English Communication (ベネット コーポレーション)	870 点以上	750 点以上
⑤	国際連合公用語英語検定試験 (日本国際連合協会)	C級以上	C級以上
⑥	TEAP: Test of English for Academic Purposes (日本英語検定協会)	240 点以上	220 点以上
⑦	IELTS: International English Language Testing System (日本英語検定協会)	アカデミックモジュール 4.0 以上	アカデミックモジュール 3.5 以上
⑧	ドイツ語の資格 (ドイツ語・ヨーロッパ専攻のみ)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ語技能検定 4 級以上</li> <li>・Start Deutsch 1 以上</li> <li>・高等学校の正規の「ドイツ語」の授業で評定平均値 4.0 以上</li> </ul>

※ただし、(4) のいずれも取得していない者については、本学が実施する総合型選抜【課題プレゼン型】のための語学能力審査を受け、一定の成績を収めることで(4) の資格に替えることができる。詳細、申込み方法は別紙(「総合型選抜課題プレゼン型 英語・ドイツ語能力事前審査について」)をご確認ください。

※実用英語技能検定以外の資格の取得日は、出願締切日から遡って2年以内に限りませう。

※TEAP は同一試験日のスコアの合計点に限りませう。

※出願書類および試験会場については、共通事項(21 頁「出願書類一覧」、35 頁「試験会場案内」)を確認してください。

## ■課題テーマ

### ○国際学部、外国語学部を志望する場合

⇒レポートの事前提出は必要ありません。志望する専攻の指定したテーマ、説明文に従ってプレゼンテーション資料を作成し、試験当日に発表していただきます。テーマが複数指定されている場合は、1つを選んでください。

### ○経済学部を志望する場合

⇒レポート（800～1,200字）の事前提出が必要です。志望する専攻の指定したテーマ、説明文に従ってレポートを作成してください。テーマが複数指定されている場合は、1つを選んでください。

※経済学部のレポート作成については、共通事項（23頁「課題レポート作成要領（総合型選抜【課題プレゼン型】）」を確認してください。

## 国際学部

### 日本学・国際コミュニケーション専攻

#### “足元”の国際化・グローバル化

「グローバル」あるいは「国際」といった言葉で語られる問題は、決して海外だけで起こっているわけではありません。我々の身近な日常の中で起きている「国際化・グローバル化」にまつわる社会問題を具体的に提起し、その対策・解決策を提案しなさい。

以下の3点に留意すること。

- ①具体的に提起する社会問題は、新聞報道（WEB版も含む）からの引用の形をとり、その出典（新聞名、発行日、版、ページなど。WEB版の場合は、閲覧日も）を明記すること。
- ②国際学部の学びの特徴である「人文科学 Humanities」（日本文化研究、コミュニケーション論、多文化共生 etc.）と「社会科学 Social Science」（国際関係、国際地域研究、経済・ビジネス etc.）をつなぐかたちで考察・提案を考えること。なお、国際学部の学びについては本学ウェブサイトなどを参照すること。
- ③提起する新聞報道、あるいは、提案する対策・解決策が、何らかの点で自分自身の生活体験や身の周りの出来事と結びついていること。

#### 国際交流・国際協力専攻

今日、より良い社会や世界を作るために、様々な努力や問題解決のための試みがなされている。その試みの基礎にあるのは、国際交流や協力などを通じて、他人や他国を知り共感することによって、理解し合い信頼感を作り上げることである。

これに関して、次の3つのテーマから、1つ選びなさい。

#### ①SNSが政治活動・市民活動に与える影響

情報手段の発達によって、人々をつなぐ様々なSNS（ソーシャルネットワークサービス）が登場しました。それらが政治活動や市民活動に与えた影響について、近年の国際社会の情勢と照らし合わせながら論じなさい。

#### ②非政府組織（NGO）の活動について

日本には「信頼で世界をつなぐ」（国際協力機構）、「日本の友人を増やし、世界との絆をはぐくむ」（国際交流基金）をビジョンとする政府機関があります。一方で様々な非政府組織（NGO）も活発な活動を繰り広げています。これらに関して、もしあなたが参加するとしたら、どのような団体にどのような貢献をすることができるか、そのビジョンを考え、論じなさい。

#### ③SDGs達成に向けた実行プラン

今日の世界では地球規模の課題が山積しており、先進国・途上国問わず「持続可能な開発目標（SDGs）」に取り組む必要性が生じています。一方では自国第一（自国ファースト）の考え方も広がっており、国際社会全体としての取り組みが思うように進まない現状もあります。このような状況に対してあなたがどう思い、仮にあなたが国連事務総長だったら世界の国々にどのような働きかけを行うか提案しなさい。

#### グローバルビジネス専攻

次の3つのテーマから1つを選択し、a) 問題の概要について具体例を交えながら説明するとともに、b) 問題に対する解決策について自身の経験や関心を踏まえて論じなさい。なお、解決策を考え

<p>るにあたっては、いかに「本学国際学部での学び」が、「自身の卒業後の将来」へとつながるかを念頭に置きながら、自身が社会に対してどのように貢献したいか、という観点から論じなさい。</p>	
<p>①経済のグローバル化と人権侵害の関係を考える</p>	<p>経済がグローバル化するにつれ、取引のネットワークは国境を超えて拡大するようになる。たとえば、アフリカで採取された資源をもとに、アジアの製造工場で製品を組み立て、それらを北米やヨーロッパで販売することもある。しかし、一部の地域では、資源の採取過程や製品の製造工程において、強制労働や児童労働など、深刻な人権侵害が起きている。劣悪な労働環境で、超過労働を強要されている人々もいる。先進国の企業としては、こうした問題から目を背けずに、正しいビジネスのあり方を模索していく必要がある。</p>
<p>②多文化共生の支援をビジネスの視点から考える</p>	<p>日本では、少子高齢化と総人口減少により、組織における人材不足問題が深刻化している。その対応策として、政府による女性の社会進出やシニアの活躍支援、AIによる業務の効率化、そして海外人材の受け入れが急速に進められている。異なる文化背景を持つ人々が、社会や組織の中で共存共栄していくには、そこに参加する人々が、互いに協力し問題に向き合うことが重要である。</p>
<p>③技術革新と金融の関係を考える</p>	<p>膨大な情報の蓄積と様々な技術革新の融合は、市場に参加する個人や企業の結びつきを強めながら、あらゆる側面で我々とお金の「関係」に革新をもたらしている。その結果、日常的に繰り返される決済から長期の資産運用まで、幅広い分野において利便性が向上している。しかし、このような技術も、使い方を誤れば悪質な経済犯罪につながることもあれば、取引の規模とスピードを飛躍的に向上させることで経済の安定性を損なう可能性もある。技術の進歩に対応する形で、金融に対する新たな向き合い方が、我々の社会に求められている。</p>

## 外国語学部

### 英語コミュニケーション専攻

日本語または英語でプレゼンテーションを実施すること。

英語コミュニケーション専攻 (ECS) では、コミュニケーション学 (たとえば、対人コミュニケーションや異文化コミュニケーション)、英語教育学、英語学について学ぶことができます。あなたが学びたいと思っている分野から具体的なテーマを1つ選び、そのことについて調べて分かったことを説明してください。また、英語コミュニケーション専攻でさらに学んでみたいことについても説明してください。

The English and Communication Studies Program offers its students the opportunity to learn about Communication Studies (e.g., interpersonal communication, intercultural communication), English Education, and English Linguistics. Please select one specific theme in the area that you want to learn about, research about it, and explain what you have found. Also, please explain what you would like to learn more about in the ECS program.

### 英語・リベラルアーツ専攻

日本語または英語でプレゼンテーションを実施すること。

英語・リベラルアーツ専攻 (ELA) では、多様な観点から英語圏の社会、メディア、歴史、ライフスタイルなどについて学びます。あなたが学びたいと思っている分野から具体的なテーマを1つ選び、そのことについて調べて分かったことを説明して下さい。また、英語・リベラルアーツ専攻でさらに学んでみたいことについても説明してください。

The English and Liberal Arts program offers students the opportunity to learn about society, media, history, lifestyle, etc. in English-speaking countries from a variety of perspectives. Please select one specific theme in the area that you want to learn about, research about it, and explain what you have found. Also, please explain what you would like to learn more about in the ELA program.

### ドイツ語・ヨーロッパ専攻

国際社会におけるドイツの先進性を挙げ、今あなたがドイツ語・ヨーロッパ文化を学ぶ意義と関連づけて論じてください。

### 中国語・グローバルコミュニケーション専攻

世界で様々な人が英語を話すように、中国語を習得することは世界各地の様々な人とのコミュニケーションを可能にします。世界 (日本を含む) で中国語が話されている地域を調べ、その地域の中から1つまたは複数の地域を選び、中国語を習得したあなたが、その地域の人とどのようなつながりを作る可能性があるか、できるだけ具体的に提案してください。

## 経済学部

経済学部共通テーマ、または各専攻別テーマから1つ選んでください。

### 経済学部共通

#### SDGs（持続可能な開発目標）の取組みに関するアイデアの提案

2015年9月、国連サミットにおいて、国際社会が目指す共通目標であるSDGsが採択されました。SDGsは、17の目標と169のターゲットから構成されており、これらを2030年までに実現させることを目指しています。

そこで、企業や行政組織（国、自治体など）がSDGsに取り組み、その目標を達成し、実現させるにはどうすればよいのかを検討して、具体的なアイデアを提案してください。なお、本課題に取り組む際に、SDGsの17の目標から1つの目標を選択して、検討してください。

志望する学科・専攻の特色に沿ったアイデアを検討してください（以下参照）。

経済学科	経済専攻	SDGsに関連した課題を解決するために国や地方行政が取り組むべき政策や事業
	観光・地域創生専攻	SDGsに関連した課題を解決するために地域（行政・企業・市民等）が連携して取り組むべき政策や事業
経営学科	経営専攻	SDGsに関連した課題を解決するためのビジネスモデルやビジネスプラン、経営組織づくりなど
	AI・ビジネス専攻	SDGsに関連した課題を解決するためのAIビジネス
	スポーツビジネス専攻	SDGsに関連した課題を解決するためのスポーツビジネス

### 経済専攻

日本は従来「現金大国」といわれ、政府はキャッシュレス決済の比率を高めるための施策に取り組んできました。こうした中、電子マネーの利用、スマホ決済、QRコード決済などの新たな決済手段も広まっています。そこで、

- ①新たな決済手段の普及やキャッシュレス化の進展が経済社会にどのような影響を与えるのか
- ②キャッシュレス化をさらに進めるためにはどのような施策が必要か

などについて、あなたの考えを具体的な事例を挙げて論じてください。

### 観光・地域創生専攻

日本は、世界のどの国も経験したことの無いほどの人口の急減や少子高齢化に直面しています。人口減少や少子高齢化は、地域社会に対して様々な影響を与えます。これらが今後の地域社会に与えるであろう影響の中から、あなたが考える解決すべき課題を具体的に説明してください。そして、提示した課題に対する解決策について論じてください。

### 経営専攻

#### 現実の企業における経営が成功している理由は何か

世界中に魅力的で成長している企業が多数存在しています。たとえば、私たちの生活において、欠かすことのできない商品（製品・サービス）を提供しているのが、世界のビジネス環境で最も影響力があるといわれているGAFAM（Google、Apple、Facebook、Amazon、Microsoft）です。このGAFAMを含めて企業の経営が成功して成長するには、必ず理由があります。そこで、現実の企業を1つ取り上げて、その企業における経営の成功理由を論じてください。

### AI・ビジネス専攻

近年、AI（人工知能）の進展に関する報道が数多くされるようになりました。ある専門家は、近い将来、これまで人間が携わってきた仕事の多くがAIに代替されるだろうと予測しています。そこで、どのような仕事がAIに代替され、どのような仕事が代替されないかについて考えた上で、AI時代におけるビジネスのあり方や人間の働き方がどう変化し、それが社会にどのように貢献するのかについて論じてください。

### スポーツビジネス専攻

次の2つのテーマから、1つ選んでください。



スポーツビジネスに関わる組織（会社）には、主に①プロ野球やプロサッカーなどプレイを見てもらうことを商品とする組織、②スポーツで使われるモノやサービスを提供する組織、③スポンサーなどを通じてスポーツを活用する組織（たとえば、テレビ中継のスポンサーとなって自社の商品をPRする）など多岐に渡ります。スポーツビジネスで成功していると思う組織を取り上げて、その組織がなぜ成功しているのか、新聞や雑誌などの情報を用いて事実を整理した上で分析し、論じてください。

運動・スポーツが果たす役割は、自らの健康維持や体力増進だけではありません。ストレスの発散やコミュニケーション、青少年の健全な育成、地域経済の活性化、長寿社会の実現、国際理解等の手段としても、スポーツが果たす役割は大きいといえるでしょう。今後、成人のスポーツ実施率を向上させるため、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進と環境整備など具体的な対策について、論じてください。

## ■試験日程

出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
2021年11月22日(月) ～12月6日(月) (消印有効)	12月12日(日)	12月24日(金) 午前10時	2022年1月21日(金) (消印有効)

## ■選考方法

選考方法		時間	配点	総合点
書類(出願時)	指定したSDGsのテーマに対するレポート(800～1,200字)・調査書・志望理由書・付属資料により総合的に審査を行う。	-	100点	200点
プレゼンテーション	提出したレポートについてのプレゼンテーションを行う。	10分	50点	
面接	アドミッション・ポリシーについての理解とプレゼンテーションに関連した個人面接を行う。	20分	50点	

※「プレゼンテーション」は、出願書類の一つとして提出したSDGsのテーマに対するレポートに基づく発表を行います。

※「プレゼンテーションと面接」は来学、もしくはオンライン受験(Zoom)を選択できます。WEB出願時にお選びください。

## ■プレゼンテーションの実施方法について

プレゼンテーションでは、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器や、模造紙などの資料を使用することができます。使用にあたり、以下の項目をよく読んで準備をしてください。

### (1) 本学の常備機器について

プレゼンテーションを実施する各教室に以下の機器等を常備しています。

必要に応じて使用してください。

- ・ノートパソコン (仕様: Windows10 Office 2016)
- ・プロジェクター (接続ケーブルは、※アナログRGBケーブル(VGAケーブル))
- ・ホワイトボード(教室備え付けのもの)、マグネット



※アナログRGBケーブル(VGAケーブル)のイメージ

### (2) 電子機器を持ち込む場合について

自身のノートパソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持ち込む場合は事前に申請が必要です。(5)のフォームにて申請してください。

※本学で用意しているプロジェクターの接続ケーブルはアナログ RGB ケーブル（VGA ケーブル）のみとなります。HDMI 端子には対応していないため、Apple 社の製品（MacBook、iPhone、iPad 等）や自身の WindowsPC を利用する場合、HDMI またはその他の端子からアナログ RGB ケーブル（VGA ケーブル）に変換するケーブルが必要となります。必ず自身で確認、用意の上、持参してください。

(3) データを持参する場合について

本学のノートパソコンを利用する、自身のノートパソコンを持ち込む場合のいずれについても、必ず USB メモリーにプレゼンテーション用のファイルを入れ、持参してください。


本学のノートパソコンではインターネットを接続してのデータ読み込み（クラウド利用）は不可となります。自身の機器を利用する際にも、インターネット接続は利用せず、機器内にファイルをダウンロードした状態で使用してください。

(4) 印刷資料の準備について

パソコンなどの電子機器を使用する場合は、動作不良などによってプレゼンテーションが実施できないということがないように、事前に印刷した資料（4部）も準備して持参してください。

(5) 機器利用について

自身のノートパソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持ち込む場合には以下のフォームから申請してください。

申請期間	11月22日（月）～12月6日（月）
申請方法	<p>申込みフォーム（<a href="https://tayori.com/f/application-admission">https://tayori.com/f/application-admission</a>）から申請してください。</p>  <p>フォーム内の指示に従い回答してください。</p>

## ■時間割

10:00～ ※	プレゼンテーション終了後
プレゼンテーション	面接

※各自の集合時間やプレゼンテーション・面接の時間については、出願期間終了後にメールで通知します。

## ■出願条件

A、Bいずれかの条件を満たす者、かつ合格後は入学を確約できる者

A

次の3つの条件をすべて満たす者

- (1) 2022年3月高等学校または中等教育学校卒業見込みの者（2021年度学年途中における卒業を含む）
- (2) アドミッション・ポリシーを了承した者

(3) 全体の評定平均値が 3.0 以上の者、または[外部資格試験]のうちいずれかを取得している者

B

次の 3 つの条件をすべて満たす者

- (1) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および 2022 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者
- (2) アドミッション・ポリシーを了承した者
- (3) [外部資格試験]のうちいずれかを取得している者

[外部資格試験]

試験名称	基準	試験名称	基準
実用英語技能検定 (CBT 含む)	準 2 級以上	GTEC (CBT 含む)	750 点以上
TEAP	220 点以上		
TOEIC® (L&R)	350 点以上	TOEFL iBT®	35 点以上
TOEIC® (L&R +S&W)	585 点以上	TOEFL ITP®	417 点以上
国際連合公用語英語検定試験	C 級以上	IELTS (アカデミックモジュール)	3.5 以上

※実用英語技能検定以外の資格の取得日は、出願締切日から遡って 2 年以内に限りませう。

※TEAP は同一試験日のスコアの合計点に限りませう。

※TOEIC®は IP も可。

※出願書類および試験会場については、共通事項 (21 頁「出願書類一覧」、35 頁「試験会場案内」)を確認してください。

## ■課題テーマ

説明文に従ってレポートを作成してください。

※レポート作成については、共通事項 (23 頁「課題レポート作成要領 (総合型選抜【課題プレゼン型】)」)を確認してください。

## 国際学部

SDGs の 17 の目標のうち、関心のあるものを 1 つ以上選び、各専攻 (日本学・国際コミュニケーション専攻、国際交流・国際協力専攻、グローバルビジネス専攻) の学びとつなぎながら、課題達成に向けた施策を提示しなさい。なお、その際には、SDGs の前文 (Preamble) で示される考え方に十分留意すること。

## 総合型選抜【基礎学力型】（専願型／併願型）

### ■試験日程

出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
2021年11月1日（月） ～ 11月12日（金） （消印有効）	11月21日（日）	12月1日（水） 午前10時	【専願型】 12月15日（水） （消印有効）
			【併願型】 2022年1月21日（金） （消印有効）

### ■選考方法

選考方法	時間	配点	総合点
適性検査（英語、国語）※	合わせて90分	各100点	200点

※英語の出題範囲はコミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ（リスニングテストはありません）。

※国語の出題範囲は国語総合（古文、漢文を除く）

### ■時間割

9：45～10：00	10：00～11：30※
諸連絡	適性検査（英語、国語）

※試験時間内に2科目を解答します。2科目の時間配分は自由です。

### ■出願条件

次の3つの条件をすべて満たす者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者または2022年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者または2022年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(2) アドミッション・ポリシーを了承した者

(3) 合格後は入学を確約できる者（専願型のみ）

※出願書類および試験会場については、共通事項（21頁「出願書類一覧」、35頁「試験会場案内」）を確認してください。

## 5 学校推薦型選抜 選抜要項

### 学校推薦型選抜【公募推薦】

#### ■試験日程

出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
2021年11月1日(月) ～11月12日(金) (消印有効)	11月21日(日)	12月1日(水) 午前10時	12月15日(水) (消印有効)

#### ■選考方法

選考方法		時間	配点	総合点
レポート※ (出願時)	志望理由書に基づいて、大学入学後に「何を学び」「何を実現したいか」記入しなさい。	—	100点	200点
面接※	質疑応答を含めた面接を行う。	15分	100点	

※レポートは800字～1,200字とする。レポート用紙は本学ウェブサイトからダウンロードした本学所定用紙を用いてください。レポートの書き方については、共通事項(28頁「レポート作成要領(学校推薦型選抜【公募推薦】)」を確認してください。

※外国語学部の面接は、英語コミュニケーション専攻、英語・リベラルアーツ専攻の2専攻は日本語と英語で、その他の2専攻は日本語で行います。

#### ■時間割

10:00～※
面接

※各自の集合時間や面接の時間については、出願期間終了後にメールで通知します。

#### ■出願条件

##### 【国際学部】

次の2つの条件をすべて満たし、合格後は入学を確約できる者

- (1) 2022年3月高等学校または中等教育学校卒業見込みの者(2021年度学年途中における卒業者を含む)
- (2) 全体の評定平均値が3.5以上の者

##### 【外国語学部】

次の2つの条件をすべて満たし、合格後は入学を確約できる者

- (1) 2022年3月高等学校または中等教育学校卒業見込みの者(2021年度学年途中における卒業者を含む)
- (2) 以下のいずれかを満たす者

<英語コミュニケーション専攻、中国語・グローバルコミュニケーション専攻>

全体の評定平均値が3.5以上かつ外国語の評定平均値が3.8以上の者。ただし、「外国語」と「英語」の両教科がある場合は、総単位数の多い教科の評定平均値とする。

<英語・リベラルアーツ専攻、ドイツ語・ヨーロッパ専攻>

全体の評定平均値が3.3以上かつ外国語の評定平均値が3.5以上の者。ただし、「外国語」と「英語」の両教科がある場合は、総単位数の多い教科の評定平均値とする。

※「外国語」の評定平均値が基準に満たない場合、以下の〔外部資格試験〕のうちいずれかを取得している者は「外国語」の評定平均値に代えて出願することができる。ただし、全体の評定平均値の基準を満たしていること。

〔外部資格試験〕

試験名称	基準	試験名称	基準
実用英語技能検定 (CBT 含む)	2 級以上	GTEC (CBT 含む)	870 点以上
TEAP	240 点以上		
TOEIC® (L&R)	425 点以上	TOEFL iBT®	43 点以上
TOEIC® (L&R +S&W)	660 点以上	TOEFL ITP®	443 点以上
国際連合公用語英語検定試験	C 級以上	IELTS (アカデミックモジュール)	4.5 以上

※実用英語技能検定以外の資格の取得日は、出願締切日から遡って2年以内に限ります。

※TEAP は同一試験日のスコアの合計点に限ります。

※TOEIC®は IP も可。

【経済学部】

次の2つの条件をすべて満たし、合格後は入学を確約できる者

- (1) 2022 年 3 月高等学校または中等教育学校卒業見込みの者 (2021 年度学年途中における卒業者を含む)
- (2) 全体の評定平均値が 3.1 以上の者

※出願書類および試験会場については、共通事項 (21 頁「出願書類一覧」、35 頁「試験会場案内」) を確認してください。

## 6 共通事項



## 出願書類一覧

出 願 書 類	総合型選抜			学校推薦型選抜
	課題プレゼン型Ⅰ期	課題プレゼン型Ⅱ期 (国際学部のみ)	基礎学力型	公募推薦
(1) 入学志願票	○	○	○	○
(2) 調査書等	○	○	○	○
(3) 課題レポート/レポート	○ (経済学部のみ)	○	/	○
(4) 推薦書	/	/	/	○
(5) 志望理由書	○	○	/	○
(6) 付属資料	○	○	/	/
(7) 各種資格証明書	該当者	該当者	/	該当者

(注) 1. 表中の○印のついた書類が各選抜の出願に必要な書類です。

2. (7) 各種資格証明書で合格証書等(原本)を提出し、その返還を希望する場合は、その旨を記載したメモを出願時に同封してください。書類確認後、返送します。

### ■ 出願書類

#### (1) 入学志願票

本学ウェブサイト上の「WEB 出願システム」で志願票を作成し、A4用紙に印刷した志願票を提出してください。なお、入学志願票は入学検定料納入後に、マイページから印刷できるようになります。

##### ① 写真

顔写真は、**最近3ヵ月以内に撮影した正面・上半身・無帽・無背景**の写真データを登録してください(カラー・白黒いずれも可。不鮮明な写真は不可)。服装の指定はありません。

##### ② 卒業(予定)年月

日本の高等学校または中等教育学校卒業(予定)者は卒業(予定)月を「**3月**」と入力してください。日本の高等学校または中等教育学校卒業で、学年途中で卒業した場合は、「**9月**」と入力してください。外国の学校卒業生、大学入学資格検定(大検)合格者・高等学校卒業程度認定試験合格者は卒業証明書または合格成績証明書に明記されている年月を入力してください。

※WEB 出願システム上で志願票を作成、印刷後に氏名(機種依存文字による文字化けに注意)、性別、住所、高等学校名、卒業年月日に入力間違いを発見した場合は、訂正箇所を二重線で消し、訂正印を押印後、余白に正しい情報を記入してください。それ以外の部分は修正できません。

#### (2) 調査書等

① 高等学校または中等教育学校卒業生および卒業見込みの者は、出身学校長が、文部科学省の定めた様式により 出願受付開始日から3ヵ月以内に作成し厳封したものを提出してください。なお、在学中に海外留学などによって外国の学校に在籍していた者は、「調査書」とともにその期間の「成績証明書」を提出してください(学校長印証明によるコピー可)。

② 高等専門学校第3学年修了者および修了見込みの者は、出身学校長が出願受付開始日から3ヵ月以内

- ③ 高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定合格者は、その「合格成績証明書」を提出してください。また、合格見込み者は合格見込みの証明書を提出し、入学手続き時に必ず「合格成績証明書」を提出してください。
- ④ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者および修了見込みの者は、「卒業（見込み）証明書」と最終出身学校の「成績証明書」を提出してください。ただし、日本と外国の双方の高等学校に在籍した者は、日本の高等学校在学中の「調査書」と外国の高等学校に在籍した期間の「成績証明書」を併せて提出してください。
- (3) 課題レポート/レポート（本学所定用紙。本学ウェブサイトからダウンロード）  
指定したテーマについてレポート（800～1,200 字）を作成し、提出してください。作成要領については、課題レポート作成要領（総合型選抜【課題プレゼン型】）（23 頁）、レポート作成要領（学校推薦型選抜【公募推薦】）（28 頁）を参照してください。
- (4) 推薦書（公募推薦志願者のみ。本学所定用紙。本学ウェブサイトからダウンロード）  
出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。
- (5) 志望理由書（本学所定用紙。本学ウェブサイトからダウンロード）  
志望理由書は「今までの学習・活動」と「入学後の学習・活動の目標」について、本学所定の用紙 1 枚にまとめて提出してください。記入には、黒ボールペンを使用してください（消せるボールペン[フリクション]不可）。  
「今までの学習・活動」には、アドミッション・ポリシーに掲げた要件を参考にしながら、今までの学習や活動の中で、特に優れていると思われる内容を簡潔に書いてください。「入学後の学習・活動の目標」には、入学後、どのようなことを学び、実践していきたいのかを記載してください。
- (6) 付属資料（本学所定用紙。本学ウェブサイトからダウンロード）  
記入要領については 25 頁を参照してください。取得資格を記載した場合は、それに該当する資格証明書のコピーを必ず添付して提出してください。証明書がないものは採点されません。また、記入することがない場合でも、日付を記入し署名捺印の上提出してください。
- (7) 各種資格証明書  
出願条件に指定した語学資格を証明する証明書（和文、英文いずれも可）を提出してください（原本を提出してください。コピーの場合には、出身学校長の原本証明を受けたものを提出してください）。  
提出された証明書原本の返還を希望する場合は、その旨を記載したメモを出願時に同封してください。希望者にのみ書類確認後、返還します（TOEFL Official Score Report は除く）。

## 課題レポート作成要領（総合型選抜【課題プレゼン型】）

- ・総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】（経済学部のみ）、総合型選抜【課題プレゼン型Ⅱ期】（国際学部のみ）は課題レポートの事前提出が必要です。本作成要領に従ってレポートを作成してください。
- ・総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】の国際学部、外国語学部志願者についてはレポート提出は必要ありません。テーマに沿ってプレゼンテーション資料を各自作成し本番に臨んでください。

### <課題レポートを作成する際のポイント>

<input type="checkbox"/>	本文を書き始める前に、本学ウェブサイトから「課題レポート・プレゼンテーション作成チェックシート」をダウンロードして A4 用紙に印刷し、それを利用して要点を記入し、その内容や論理構成に問題点や矛盾点がないか確認しましょう。
<input type="checkbox"/>	課題レポートは、できるだけ具体的な事実やデータ（資料）に基づいてあなたの主張を説明しましょう。具体的な事実には、あなたが実際に体験したことが含まれていても構いません。
<input type="checkbox"/>	インターネットを用いた情報検索は非常に便利で有益ですが、時には誤った情報が検索されてしまうことがあります。インターネット上の情報を利用する場合は、その情報が正しいものかよく確認しましょう。
<input type="checkbox"/>	課題レポートは、内容だけでなく基本的な文章力も評価の対象になります。本文が完成したら誤字や脱字がないか確認しましょう。

### ■作成要領

- (1) 課題レポートは、所定用紙に黒のボールペンで記入してください（消せるボールペン [フリクション] 不可）。また、本文はできるだけ丁寧に記述することを心がけてください。
- (2) 「受験番号」欄は、大学で記入するので記入不要です。
- (3) 「氏名」欄は、志願者本人の氏名を記入してください。
- (4) 「ページ」欄は、それぞれのページ番号と総ページ数を、「ページ番号／総ページ数」という形式で記入してください。例) 「1／3」
- (5) 「専攻」欄は、志望する専攻を記入してください。
- (6) 「テーマ」欄は、選択したテーマを記入してください。必要に応じてサブタイトルをつけても構いません。テーマにタイトルがついていない場合、自身で考えてタイトルをつけてください。
- (7) 本文の様式は、次のとおりとします。
  - ① 文字数の目安は、800～1,200 字（図・表・グラフ・写真の説明などを含む）です。
  - ② 横書きで記述してください。また、文体は「だ・である」調を使ってください。全体をいくつかの節に分け、それぞれに見出しをつけて構成を分かりやすくするとよいでしょう。
- (8) 本文中に図・表・グラフ・写真などを貼りつける場合は、次の点に注意してください。
  - ① 全体のレイアウトには特に制限はありません。
  - ② パソコンなどを用いて作成し印刷したものを貼りつけても構いません。
  - ③ また、他の文献や資料からコピーしたものを貼りつけても構いません。その場合は、必ず番号とタイトルをつけ、その出典を記入してください。出典は、挿入する図・表・グラフ・写真などの下に書いてください。「著者名、書名、出版社名、掲載ページ、出版された西暦年」などを、次の例を参考にして記入してください。  
(出典) 麗澤一郎、今日のインターネットの普及状況、廣池出版、p. 123、2020 年。

(出典) 総務省編、令和2年版情報通信白書、ぎょうせい、2020年、p.191 をもとに  
筆者がグラフを作成した。

(出典) 2021年5月27日、柏市光ヶ丘にて撮影。

(9) 課題レポートは原本を提出してください。

### ■ 付属資料の記入上の注意

- (1) 記入用紙は本学ウェブサイトからダウンロードした本学所定用紙を用いてください。
- (2) 黒のボールペンで記入してください（消せるボールペン [フリクション] 不可）。
- (3) 記入は志願者本人が行い、末尾に署名・捺印してください。
- (4) 年月日の記入には西暦を用いてください。
- (5) 取得資格の欄に記入した者は、取得資格証明書または成績証明書などのコピーを必ず添付してください。添付していない内容は採点されません。
- (6) 高等学校時の諸活動、ボランティアおよび社会教育活動、特記事項の欄に記入した者で、受賞や活動の状況を証明するものがあれば、客観的評価が容易になりますので添付してください（賞状などについてはコピーでも可）。
- (7) 取得資格、高等学校時の諸活動、ボランティアおよび社会教育活動、特記事項の欄が無記入であっても署名・捺印は必要です。

### ■ 付属資料の各項目について

#### (1) 取得資格

取得した資格のコード(次頁の別表参照)、資格名、段級・得点、取得(受験)年月日を所定欄に記入してください。資格コードとして199、299、399、499、999を記入した者は、資格欄に資格の正式名称と実施団体名を記入してください。

#### (2) 高等学校時の諸活動

生徒会活動や部活動について記入してください。生徒会本部役員(会長・副会長・書記・会計など)、全校レベルの役員(文化祭実行委員長・寮長など)を経験した者は、生徒会活動の欄に役員名・期間・具体的な活動内容を記入してください。文化系、運動系を問わず1年間以上継続して部活動を行った者は、部活動の欄に部の名称・役割・活動期間・最高の成果を記入してください。最高の成果は大会名称と成績を正確に書いてください。

#### (3) ボランティアおよび社会教育活動

社会奉仕活動を経験した者は、主催者・期間・回数または日数・具体的な活動内容を記入してください。学校以外の団体が主催する活動も含まれます。具体的な活動内容は、客観的評価を行う上で重要ですので必ず記入してください。

#### (4) 特記事項

(1)～(3)に該当しないことは、この欄に具体的に書いてください。

なお、海外留学経験のある者は、この欄に国名・期間・留学目的・留学先機関・留学の成果を記入してください。留学先機関からの修了証明書や成績証明書などがあれば、コピーを添付してください。

### ■ 評価の視点

アドミッションポリシーに照らして志願者の資質・可能性が本学にふさわしいかどうかを確認します。

## ■資格コード表 (別表)

分野	名称	実施団体	コード
英語	実用英語技能検定	日本英語検定協会	101
	全商英語検定試験	全国商業高等学校協会	102
	国際連合公用語英語検定試験	日本国際連合協会	103
	日商ビジネス英語検定	日本商工会議所	104
	技術英語能力検定	日本技術英語協会	105
	TOEFL®	Educational Testing Service	107
	TOEIC®	国際ビジネスコミュニケーション協会	108
	ケンブリッジ大学英語検定試験	ケンブリッジ大学英語検定機構 (Cambridge ESOL)	109
	IELTS	日本英語検定協会	110
	その他の外国語関係検定試験		199
情報技術	基本情報技術者試験	情報処理推進機構 (IPA)	202
	ITパスポート試験	情報処理推進機構 (IPA)	203
	その他のIPA資格	情報処理推進機構 (IPA)	204
	ICTプロフィシエンシー検定試験	ICTプロフィシエンシー検定協会	206
	日商PC検定試験	日本商工会議所	208
	全商情報処理検定試験	全国商業高等学校協会	210
	情報技術検定	全国工業高等学校長協会	213
	デジタル技術検定	国際文化カレッジ	215
	情報検定 (J検)	職業教育・キャリア教育財団	216
	その他の情報技術関係検定試験		299
簿記	日商簿記検定試験	日本商工会議所	301
	簿記実務検定試験	全国商業高等学校協会	302
	簿記能力検定	全国経理教育協会	303
	その他の簿記関係検定試験		399
数理	実用数学技能検定	日本数学検定協会	401
	その他の数理関係検定試験		499
その他	アドミッション・ポリシーに関するもの		999

## ■諸活動の例示

項目	例示
高等学校時の諸活動	生徒会本部/全校レベルの役員または1年間以上継続した部活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会会長/副会長/書記/会計など</li> <li>文化祭全校実行委員長/同副委員長/寮長など</li> <li>陸上部や剣道部など学校公認の部活動実績、成果 (部長、県大会8位以内に入賞など)</li> </ul>
ボランティア および 社会教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学校、老人ホームでの奉仕活動</li> <li>被災地復興支援などのボランティア活動</li> <li>公共施設周辺の清掃</li> <li>青少年スポーツ活動の指導</li> <li>非営利団体による社会教育活動など</li> <li>公民館、図書館などを利用した社会教育活動</li> </ul>
特記事項	上の項目以外の賞罰や諸活動など <ul style="list-style-type: none"> <li>公的団体主催のコンクール・競技などで受賞 (作文、弁論、英語スピーチなど)</li> </ul>

- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 学校主催のコンクールなどで受賞（部活動以外）</li><li>・ 海外の学校に留学など</li></ul> |
|--|---|

<レポートを作成する際のポイント>

<input type="checkbox"/>	公募推薦のレポートでは、志望理由書に基づいた、大学入学後の「学修計画と将来ビジョン」を記入します。
<input type="checkbox"/>	<u>「志望理由書」について</u> 学部や志望する専攻の理念やカリキュラムの特徴について、入学案内は大学ウェブサイトで情報収集を行い、それを自身が希望する学修内容と結びつける形で、なぜこの学部・専攻に入りたいかを明確に述べてください。
<input type="checkbox"/>	<u>「学修計画書と将来ビジョン」について</u> 自身の関心事についての客観的情報を調査・収集し、それを入学案内や大学ウェブサイトで調べた志望専攻のカリキュラムと結びつけて4年間の学修計画を立ててください。また、その4年間の学びが、卒業後のキャリア（進路）にどうつながるのかを必ず述べてください。
<input type="checkbox"/>	レポートは、内容だけでなく基本的な文章力も評価の対象になります。本文が完成したら誤字や脱字などがないか確認しましょう。

■作成要領

- (1) レポートは、所定用紙に黒のボールペンで記入してください（消せるボールペン〔フリクション〕不可）。また、本文はできるだけ丁寧に記述することを心がけてください。
- (2) 「受験番号」欄は、大学で記入するので記入不要です。
- (3) 「氏名」欄は、志願者本人の氏名を記入してください。
- (4) 「ページ」欄は、それぞれのページ番号と総ページ数を、「ページ番号／総ページ数」という形式で記入してください。例)「1／3」
- (5) 「専攻」欄は、志望する専攻を記入してください。
- (6) 本文の様式は、次のとおりとします。
  - ① 文字数の目安は、800～1,200 字（図・表・グラフ・写真の説明などを含む）です。
  - ② 横書きで記述してください。また、文体は「だ・である」調を使ってください。全体をいくつかの節に分け、それぞれに見出しをつけて構成を分かりやすくするとよいでしょう。
- (7) 本文中に図・表・グラフ・写真などを貼りつける場合は、次の点に注意してください。
  - ① 全体のレイアウトには特に制限はありません。
  - ② パソコンなどを用いて作成し印刷したものを貼りつけても構いません。
  - ③ また、他の文献や資料からコピーしたものを貼りつけても構いません。その場合は、必ず番号とタイトルをつけ、その出典を記入してください。出典は、挿入する図・表・グラフ・写真などの下に書いてください。「著者名、書名、出版社名、掲載ページ、出版された西暦年」などを、次の例を参考にして記入してください。
 

(出典) 麗澤一郎、今日のインターネットの普及状況、廣池出版、p. 123、2020 年。

(出典) 総務省編、令和 2 年版情報通信白書、ぎょうせい、2020 年、p. 191 をもとに筆者がグラフを作成した。

(出典) 2021 年 5 月 27 日、柏市光ヶ丘にて撮影。
- (8) レポートは原本を提出してください。



## ■出願方法

- ①志願票はすべて WEB 上での作成となります。本学ウェブサイトから「WEB 出願」ページにアクセスし、必要事項を入力し、入学検定料納入後、A4 用紙に印刷をしてください。
  - ②出願書類は任意の封筒に一括して封入し、必ず**書留速達**にして、締切日（消印有効）までに郵送してください。出願書類に不備があるものは受け付けませんので、よく確かめて出願してください。
- ※出願書類の配送状況は、郵便局 WEB サイトの郵便追跡サービスで確認してください。

## ■入学検定料の納入

- (1) 入学検定料 35,000 円
- (2) 入学検定料支払い方法（支払手数料は志願者負担となります）  
WEB 出願の際に選択した支払方法で納入してください。  
コンビニエンスストア、ペイジーでの支払いを選択した場合は、指定された支払期限日までに選択した支払窓口で検定料を納入してください（支払期限日までに納入できなかった場合は、その出願は無効になり、再度 WEB 出願を行う必要があります）。クレジットカード支払いを選択した場合は即日決済となります。
- (3) 注意事項
  - ① 現金、郵便為替などでの納入は受け付けません。
  - ② 一旦納入された入学検定料は、**いかなる理由があっても返還しません**。志願票の入力内容をよく確かめてから検定料の納入をしてください。

## ■出願手続上の注意事項

- (1) 出願資料の提出はすべて郵送に限ります。
- (2) 出願書類に不備のあるもの、および締切日を過ぎた消印のものは受け付けません。
- (3) 出願書類に後日虚偽の事実が発見された場合には、合格を取り消します。
- (4) 出願後の志望学科・専攻の変更は認めません。
- (5) 提出された出願書類は返還しません。ただし、資格証明書原本の返還を希望する者には、書類確認後、返送します。返還を希望する旨を記載したメモを出願時に同封してください。
- (6) 出願後に提出書類（課題レポートや付属資料など）への追加記入および資格証明書などの追加提出はできません。
- (7) 既に本学の入試に出願したことがあったとしても、別の入試区分で再び出願する場合は、調査書等のすべての書類を改めて揃えて出願する必要があります。

## ■個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜の実施・結果通知および個人を特定しない形で行う統計的な調査のために使用し、その取り扱いについては細心の注意を払います。なお、出身学校から入試結果の問い合わせがあった場合、進路指導上の必要に基づき、可否・入学手続の有無についてお知らせすることがあります。ただし、志願者からの申し出があった場合には、一切通知しないようにします。

## ■障がい等の理由で受験上の配慮を希望する方へ

下表のような理由により受験上の配慮を希望する者は、出願前にアドミッションセンターまで相談してください。なお、受験上の配慮については、入学者選抜という性格上、全体の公平性が確保できる範

困で行うものとなります。

区 分	受験上の配慮の対象となる者
視覚障がい	<ul style="list-style-type: none"><li>・点字による教育を受けている者</li><li>・良い方の眼の矯正視力が 0.15 以下の者</li><li>・両眼による視野について視能率による損失率が 90%以上の者</li><li>・上記以外の視覚障がい者</li></ul>
聴覚障がい	<ul style="list-style-type: none"><li>・両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者</li><li>・上記以外の聴覚障がい者</li></ul>
肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"><li>・体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者または困難な者</li><li>・両上肢の機能障がい著しい者</li><li>・上記以外の肢体不自由者</li></ul>
病弱	<ul style="list-style-type: none"><li>・慢性の呼吸器、心臓、腎臓疾患等の状態が継続して医療・生活規制を必要とする程度の者またはこれに準ずる者</li></ul>
発達障がい	<ul style="list-style-type: none"><li>・自閉スペクトラム症、学習障がい、注意欠如・多動症のため配慮を必要とする者</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・上記の区分以外の者で特別措置を必要とする者</li></ul>

## ■ 受験方法

総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】、総合型選抜【課題プレゼン型Ⅱ期】、学校推薦型選抜【公募推薦】を受験する者は、出願時に次の2種類から受験方法を選択してください。総合型選抜【基礎学力型】は(1)のみです。

- (1) 本学（麗澤大学キャンパス）で受験する  
試験当日、受験票に記載の試験会場（麗澤大学キャンパス）で受験してください。
- (2) 自宅や高校などからオンライン受験する  
オンライン受験はZoomで行います。受験票とは別に、試験日時およびZoomミーティングのアカウントを志願票作成時に登録したメールアドレス宛に通知します。通知は受験票印刷開始日以降を予定しています。受験者は試験日までにZoomでの面接試験を受験できるよう環境を整えてください。

## ■ 受験票

- (1) 受験票は、各自でWEB出願システムのマイページから印刷し、試験当日に携帯してください。受験票は試験ごとに指定された以下の期日から印刷が可能となります。印刷可能となった際は、志願票作成時に登録したメールアドレスに通知が届きます。

入試区分	受験票印刷開始日
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】（専願型／併願型）	10月15日（金）午前9時
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅱ期】	12月9日（木）午前9時
総合型選抜【基礎学力型】（専願型／併願型）	11月18日（木）午前9時
学校推薦型選抜【公募推薦】	

- (2) 受験票の記載内容に誤りのある場合は、直ちにアドミッションセンターまで連絡してください。

## ■ 試験会場

麗澤大学キャンパス（所在地および案内図は36頁参照）

※キャンパス内の試験場は受験票で確認してください。

## ■ 受験上の注意（本学で受験する場合）

- (1) 試験場へは午前8時30分から入場できます。
- (2) 試験場に入る際は必ず受験票を提示してください。
- (3) 受験票を忘れた場合には、受付係員に申し出てその指示に従ってください。
- (4) 遅刻した場合は、総合型選抜【基礎学力型】のみ試験開始後30分以内まで入室を認めます。ただし、総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】、総合型選抜【課題プレゼン型Ⅱ期】、学校推薦型選抜【公募推薦】では遅刻は認めません。
- (5) 受験票は、試験時間中は常に机の上に提示しておいてください。また、休憩時間に試験場を出る場合は必ず携行してください。
- (6) スマートフォン、携帯電話などの通信機器は、試験室に入る前に必ず電源を切ってカバンなどの中にしまっておいてください。
- (7) 会場へは受験生のみしか入場できません。また、付添者の控室は用意しておりません。

## ■ 受験上の注意（自宅や高校などからオンライン受験する場合）

- (1) オンライン受験はパソコンまたはノートパソコンを推奨します。
- (2) 安定したネットワーク接続の環境を確保してください。
- (3) 事前に以下の【Zoomマニュアル】のURLからZoomマニュアルをダウンロードし、アプリのイン

ストールおよびテスト起動を行ってください。

【Zoom マニュアル (1.3MB)】

[https://www.reitaku-u.ac.jp/images/zoom\\_manual.pdf](https://www.reitaku-u.ac.jp/images/zoom_manual.pdf)

- (4) 必要に応じてカメラ、イヤホン、マイクを各自でご用意ください。
- (5) 受験する部屋は原則個室とし、周囲に騒音等がなく、同室に他の人が居ないようにしてください。
- (6) 事前接続テスト時間では通信テストおよび音声や映像を事前に確認しますので、必ず試験実施時と同環境、端末にてアクセスしてください。
- (7) 接続時に問題等が発生した場合、アドミッションセンターまでご連絡ください。
- (8) **Zoom の表示名は必ず受験番号 (5 ケタ) で表示してください。**
- (9) 机の上やその周りには、受験票以外置かないでください。
- (10) バーチャル背景の使用は認めません。
- (11) 面接の様子を撮影・録画することは禁止します。
- (12) 本学からの連絡がない限り、機器の前で Zoom にアクセスした状態で待機してください。
- (13) 試験日当日には事前の接続テストを行います。接続テスト後は接続していただいたまま待機していただきます。
- (14) 試験当日の接続用 URL は、出願時に登録したメールアドレスにメールで通知します。
- (15) 試験当日は指定された時間の 5 分前に指定された URL より Zoom にアクセスし選考が開始されるのをお待ちください。
- (16) 実際に面接試験を行うルームには本学職員が案内の後、振分けさせていただきます。
- (17) 不正行為と判断される行動が見受けられた場合、試験を中止することがあります。

【試験時の通信不慮等のトラブルについて】

1. 一時的な通信障害等で、5 分程度で正常な状態で復旧された場合  
映像、音声の確認が出来次第、選考を継続します。
2. 5 分程度で復旧されない場合 (※予期しない停電等も含む)  
本学から直接ご連絡させていただき、映像と音声の確認をいたします。  
正常な状態に復旧次第、当日中の選考の時間をご連絡いたします。
3. 当日中の復旧が出来ない場合  
別日程で選考の日時をご連絡いたします。

## 合格発表

- (1) 受験結果（合格・不合格）は合格発表日の午前 10 時に本学ウェブサイトで発表します。郵送での通知は行いません。結果の照会には受験番号と受験者の誕生日(4桁)が必要です。また、確認できる期間は合格発表日を含めて7日間です。
- (2) 合格者は、合格通知と入学書類を WEB 出願システムのマイページで確認して期限までに入学手続きを行ってください。
- (3) 電話などによる可否の問い合わせには応じません。
- (4) 入学手続き期限後の入学手続きは一切認めません。
- (5) 本学に合格した場合でも、入学までの期間に高等学校の指導に従わない場合、また本学の学生としてふさわしくない行動があった場合には、合格を取り消すことがあります。

## 入学手続き

### ■入学書類

入学書類および手続きの詳細については、「入学手続き要項」に従ってください。「入学手続き要項」および入学書類は、合格後 WEB 出願システムのマイページからダウンロードして確認してください。

### ■入学手続き期限

入試区分	入学手続き期限（消印有効）
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】（専願型）	11月16日（火）
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】（併願型）	12月1日（水）
総合型選抜【課題プレゼン型Ⅱ期】	2022年1月21日（金）
総合型選抜【基礎学力型】（専願型）	12月15日（水）
総合型選抜【基礎学力型】（併願型）	2022年1月21日（金）
学校推薦型選抜【公募推薦】	12月15日（水）

※所定の期日までに入学手続きを完了しない者は入学資格を失います。

### ■入学手続き方法

合格者は所定の期日までに学費などを所定の金融機関に振り込み、入学書類を本学（アドミッションセンター宛）へ任意の封筒に同封し郵送してください。

なお、入学金を除く学費などについては、事情がある場合には、2022年3月10日（木）まで納入を延期することができます。詳細は合格者に交付する「入学手続き要項」を参照してください。

※総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】（専願型）、総合型選抜【課題プレゼン型Ⅱ期】、総合型選抜【基礎学力型】（専願型）、学校推薦型選抜【公募推薦】の合格者については、一旦納入された学費および提出書類は、いかなる理由があっても返還しません（入学を確約している者であるため）。なお、やむを得ない理由により入学できなくなった場合は、文書にて申し出てください。2022年3月31日（木）（消印有効）までに申し出のあった場合に限り、諸会費のみ返還します（送金手数料を差し引く）。

### ■入学辞退と納入金の返還

総合型選抜【課題プレゼン型Ⅰ期】（併願型）、総合型選抜【基礎学力型】（併願型）の合格者が学費等を納入した後に入学を辞退する場合は、入学辞退期限（2022年3月31日（木）[消印有効]）までに本学所定の「入学辞退届」を簡易書留にて郵送し、申請してください。入学辞退の期限内の消印があるものに限り受け付け、入学金を除く授業料、施設費、諸会費（送金手数料を差し引く）を4月頃に返還します。

**2022 年度学校納付金（予定） — 年額 —**

**学 費 等**

※消費税は課されません。

費 目		初年度納付金額	納 入 期 限		2～4 年次 納付金額 (年額)
			入学手続時	9 月 19 日	
学 費	入 学 金	260,000 円 (初年度のみ)	260,000 円		
	授 業 料	830,000 円	415,000 円	415,000 円	830,000 円
	施 設 費	300,000 円	150,000 円	150,000 円	300,000 円
	小 計	1,390,000 円	825,000 円	565,000 円	1,130,000 円
諸 会 費 等	学友会入会金	4,000 円 (初年度のみ)	4,000 円		
	学 友 会 費	6,000 円	6,000 円		6,000 円
	後 援 会 費	30,000 円	30,000 円		30,000 円
	麗澤校友会入会金	20,000 円 (初年度のみ)	20,000 円		
	小 計	60,000 円	60,000 円		36,000 円
合 計		1,450,000 円	885,000 円	565,000 円	1,166,000 円

※学内には関係諸団体として以下の3団体があり、それぞれの会費などを入学手続時に一括代理徴収しています。

学友会	学部学生全員を会員（大学院生は会友）とし、本学創立の精神に則り、会員の融和とその知的情操的教養の向上ならびに健康の増進をはかるための各種の活動を行うことを目的としています。運動系・文化系の部・同好会の課外活動や大学祭および各種行事の企画・運営、出版活動を行っています。
後援会	在学生の保護者・保証人またはこれに準ずる者で組織され、大学との密接な連絡を取り、大学の円満な発展のための援助ならびに子女の教育向上に協力し、かつ会員相互の親睦をはかることを目的として、諸活動を企画・実施しています。
麗澤校友会	本学在学生と卒業生で構成されている同窓会組織です。本会では、会員相互の交流と親睦をはかり、建学の精神の高揚と母校の発展を願って、会報の発行や同窓会開催支援、母校の諸活動への援助・支援などの事業と活動を展開しています。なお、在学中の会費は免除されます。

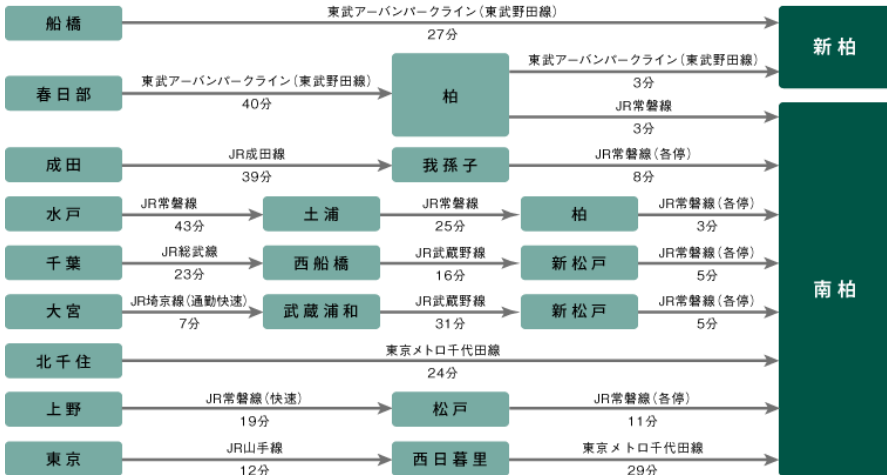
# 試験会場案内

- (1) 公共交通機関をご利用ください。
- (2) 試験会場の下見は、建物の位置確認だけで、建物内に入ることはできません。

麗澤大学キャンパス

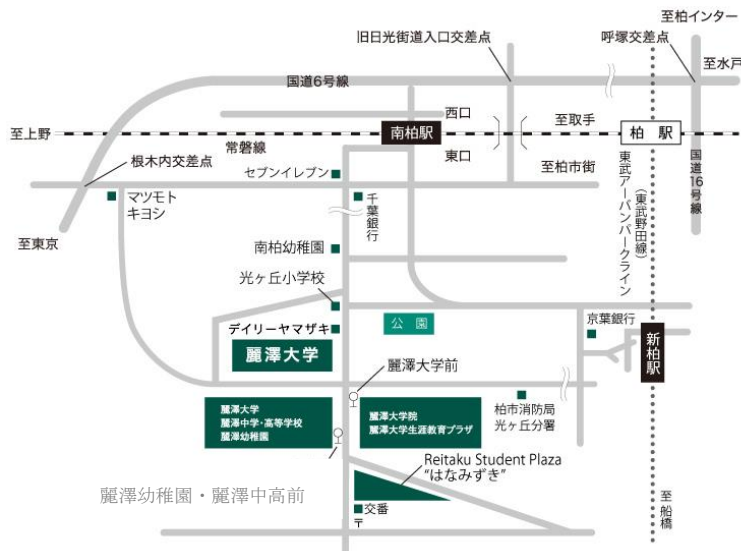
〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号

## 主要駅から南柏駅までのアクセス例



### ■南柏駅から

- ・東口から東武バス（①番乗り場）に乗車で約4分。「麗澤大学前」下車。
- ・徒歩では約15分。





〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号

<https://www.reitaku-u.ac.jp/>

<出願に関するお問い合わせ>

大学事務局アドミッションセンター

<https://tayori.com/f/nyushi>

